

大阪科学・大学記者クラブ 加盟社各位

2026年5月12日

「IAQ技術開発センター」がORISTに誕生 室内空気の質を見える化して企業の製品開発を支援します！

※IAQ：室内空気質（Indoor Air Quality）

- 地方独立行政法人大阪産業技術研究所(本部:大阪府和泉市、理事長 湯元 昇、以下、ORIST オリスト)は、大阪府・大阪市が設置した技術支援機関です。このたび、ORIST和泉センターに、室内空気質に関する製品開発を支援する「IAQ技術開発センター」をオープンしたことをお知らせいたします。見学可能ですので、是非ご来所ください。
- 8月にオープン記念イベントを開催します。詳細は後日発表いたします。



IAQセンターの中核装置
「空気質評価用大型チャンバー」(30m³)
横幅:約7m、高さ:約3.6m



ORIST 和泉センター(和泉市)

■「IAQ技術開発センター」

人は1日の90%を室内で過ごし、1日に18kgもの空気を吸い込んでいます。つまり、健康で快適な暮らしを実現する上でIAQの向上は非常に重要になります。

健康的な室内環境への関心が高まる中、室内における空気質（におい、清浄度など）に関する製品開発を支援するため、それらを精密に測定・評価する装置を「IAQ技術開発センター」として集約、新設しました。同センターを企業の皆様にご利用いただくことで、室内空気質の向上に関する製品や材料などの開発に向けた企業支援を積極的に実施します。

■「空気質評価用大型チャンバー」

本センターの中核装置となるのが、「空気質評価用大型チャンバー」です。30m³という他の公設試*にはない大きさで、**実際の生活空間と同等の空間サイズ**での空気質評価が可能です。限られた大企業しか保有できない高性能な大型装置を、中小ものづくり企業にもお使いいただくことで、製品開発支援や技術力向上に貢献します。

*公設試：公設試験研究機関の略称。都道府県や政令指定都市が設置し、地域企業（特に中小企業）の振興や技術支援、研究開発を行う公的機関

■ターゲット業界（主なもの）

- ・消臭剤、脱臭剤、芳香剤、・空気清浄機、エアコン、・フィルター、・家庭用品（カーテン、壁紙、家具など）、
- ・住宅、・モビリティ（電車、バス、飛行機など）、・センサ（空気質計測用など）

問合せ先	(地独) 大阪産業技術研究所 法人経営本部 企画部 担当：松永（和泉センター） 電話 0725-51-2511 matsunaga@orist.jp
関連URL	https://orist.jp/kouhou/press_release/2026051201.html
添付資料	裏面：主要機器リスト、補足説明、設立の経緯など



項目	内容
主要機器	<p>1：空気質評価用大型チャンバー（30m³）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の部屋と同じぐらいの空間で消臭剤・脱臭剤や空気清浄機がどの程度効果を発揮するかを評価できる。 ・家具などの大型試料から「どんな化学物質」が「どの程度放散」するかを測定できる。 <p>2：空気環境用流体解析ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターを用いて空気の動き（流れる方向・速さ）や温度を予測し、目に見えない空気の動きを「見える化」できる。 ・実際に測定が難しい空間（巨大な空間や特殊環境）においても、どのような現象が起きるかを事前に予測することができる。 <p>3：高精度ガス／蒸気吸着測定装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消臭・脱臭剤の物性評価に利用 ・炭やシリカゲルのように目には見えない小さな孔を有する材料（多孔質材料）の、孔の大きさや表面積を測定する。 <p>4：貫通孔径測定装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機に使われるフィルター材など、シート状多孔質材料の孔径を測定するための装置
IAQとは	<p>IAQはIndoor Air Qualityの略称で、日本語では「室内空気質」と言います。IAQは、「におい」や「清浄度」、「空気の流れ」により評価されます。簡潔に言うと、「部屋の空気がどれくらいキレイか」を評価します。室内の空気には、悪臭や芳香などのおい物質、二酸化炭素、揮発性有機化合物やホルムアルデヒドなどの化学物質、ほこりや粉じんなどが含まれています。これら化学物質や微粒子状物質の濃度が空気の質（キレイさ）に大きな影響を及ぼします。</p> <p>人々は1日の90%を室内で過ごし、1日に18kgもの空気を吸い込んでいます。食べ物や飲み物よりもはるかに多くの空気を体内に取り入れているため、健康で快適な暮らしを実現する上でIAQの向上は非常に重要になります。</p>
設立の経緯	<p>近年、IAQ関連の技術開発が活発化しており、特に「におい」が集中力やストレスに及ぼす影響などが注目されています。</p> <p>ORISTは、これまで「におい」「触媒・吸着材」「多孔質材料」をキーワードに技術支援・研究開発を進めてきました。IAQ技術開発センターは、上述の3つの基盤技術とコンピューターシミュレーション技術を合わせ、「見えない空気の質を可視化することにより、快適な室内空間を創出することを目的として、ORISTが2026年4月に開設したセンターです。</p>
主要業務 (サービス)	<p>■ 研究開発</p> <p>実際の生活空間に近い空気質評価用大型チャンバーを用いて、場所や時間による空気質の不均一性を可視化することを目的に、研究を行います。センサを用いた実測とコンピューターによるシミュレーションを両輪とし、ORIST独自の評価方法を確立します。</p> <p>■ 支援業務</p> <p>ORISTで開発した評価手法を基に、主に受託研究、共同研究を通してIAQ関連製品の性能評価や室内空間の快適性評価に関する支援を行います。</p>